

日英パラレルコーパスを利用した DDL教材開発

田 辺 和 子
(日本女子大学)
中 條 清 美
(日本大学)

はじめに

本研究は、「留学生科目における語彙指導の工夫」「留学生科目における語彙指導の研究」「留学生科目における語彙指導の展望」(日本女子大学紀要文学部 57、58、59)の中の一部として行ってきたコーパス研究の分野に焦点を絞り、そこで認められた研究課題を引き続き検討していくことを目的としている。すでに英語教育では、前掲論文で扱ってきた日英パラレルコーパスを利用して先進的な活動を展開している(中條、2008)。本稿は、前半で日本大学における英語教育の実践例を紹介し、後半は、新聞を教材として取り入れることを目的とした日本語教育教材の開発例を提示してみた。

使用コーパスは、情報通信研究機構により公開されている、1989年9月から2001年12月までの読売新聞と*The Daily Yomiuri*の記事を自動的に対応付けて作成されている新聞コーパスである(内山、井佐原、2003)。検索ツールは二言語コンコーダンスプログラムのParaConc (Barlow, 2004)を使用した。

I 英語編—英語教育におけるDDL文法学習教材

I-1. 英語教育におけるDDL利用の概要

1960年代のコーパス言語学の幕開け以降、コーパスの研究と教育への利用が活発に試みられている。一般的にコーパスを利用した学習はデータ駆動型学習(Data-Driven Learning: DDL)と呼ばれる。DDLでは、コーパス検索から得られた用例を見て学習者自身が文法の規則性を発見するという帰納的学習が可能である(Todd, 2001; Sun & Wang, 2003; Bernardini, 2004; Chan & Liou, 2005; Flowerdew, 2008)。本稿の目的は、大学初級レベル英語学習者が名詞句と動詞句の習得を目指した、英語と日本語で用例が併記される日英パラレルコーパスを利用したDDL学習教材とその利用法を報告することである。

コーパス利用の英語教育では、自然な英文テキストを検索するため、英語初級レベル学習者にとって、英文テキストのみが示されるモノリンガルコーパスは難易度が高い。一方、日英パラレルコーパスは、図1のように英文に対応する日本文が示されるため、英文理解の負荷および不安

を軽減することができる。基本的な名詞句構造の一例として「冠詞+名詞+前置詞 (of)」を示す場合、日英パラレルコーパスの検索によって図1の結果が得られる。これによって学習者は、meetingの左右には、多くの例に共通して、冠詞 a および前置詞 of が現われることに気づくことができる。学習者はこのように実際の豊富な用例に接することを通じて、英語の名詞句の基本的パターンに関する知識を積み重ねていくことができる。

ports from China to Japan. An a meeting of an international botanical societ	al affluence. Late this month, a meeting of central bank governors of East Asi
gnation before the opening of a meeting of countries signatory to the treaty	carefully examine its role in a meeting of countries that support Palestine.
ed Manila framework, agreed at a meeting of deputy finance ministers and cent	se of the antimonopoly law. At a meeting of economic affairs ministers last we
the proposal to Russia during a meeting of experts on nuclear waste schedul	ministry revealed the plan at a meeting of experts from Japan and the Europ
cluding market intervention, at a meeting of finance ministers and central bank	ial adversaries." On Sept. 18, a meeting of finance ministers of the Asia-Eur
S. President George Bush held a meeting of foreign ministers in Washington. t	tral Bank is scheduled to hold a meeting of its policy-setting council on Thur
経済に大きな影響を与える国際会議が年末にかけ、国際通貨基金（I	となり、閣議に先立つ事務次官会議を通らない案件は閣議にさえかか
六年に一度の国際植物科学会議もアジアで初めて横浜で開かれた	旬に東アジア・太平洋中央銀行会議の総裁会合が上海で、九月下旬に
開かれるラムサール条約締約国会議までに手続きを終える。北方四島	で主催する対パレスチナ支援国合会に向け、支援策の検討にも入る
の蔵相・中央銀行総裁代理会合で合意した新しいフレームワーク	中韓三国は先週、経済担当相会合を開いて、中小企業振興やIT
開かれる日口核廃棄物専門家会合で打診する。1、以上述べた基本)の自動車基準・認証専門家会合で表明した。知事の一連の発言
進七か国蔵相・中央銀行総裁会議（G7）で、市場介入も含めた	ヨーロッパ諸国の二年に一回の会議であるアジア欧州会議（ASEM）

図1 meetingの検索結果

日本大学では、過去6年間、一般英語授業において、パラレルコーパスを使った帰納的学習と、教師による明示的指導を組み合わせることによって、仮説形成から仮説検証を経てプロダクションに至るDDLを実践し、指導法を提案してきた（中條、2008）。2009年度の指導実践の結果では、文法理解に高い効果を上げた。さらにコーパスを使った学習が「楽しい、新鮮である、集中できる」など、肯定的に受けとめられ、英語を苦手とする初級レベル学習者に対して、能動的学習を促すことを確認した。

本稿では、これまでの継続的指導実践の結果から得られた成果として、文の骨格を成す名詞句、さらに動詞句構造を理解し、文中に存在するまとまりとしてそれらを認識する能力の向上を図るための英語教育用DDL教材と利用法の実例を報告する。

I-2. 実践の方法

I-2.1 実践回数と対象者

指導回数：前期10週、後期10週、計20週、各90分授業

対象者：理工系大学1年生の一般英語授業、2クラス計39名

使用教室：CALL教室

I-2.2 DDLシラバスデザイン

DDLにおいて指導する目標言語形式は、Uchibori, et al (2006) に基づき、コミュニケーション力養成に実効ある項目として「名詞句構造」と「動詞句構造」であり、前者を前期、後者を後

期に指導した。シラバスをデザインする際には、コーパスを用いたDDL文法学習とそれを補完するための語彙学習を組み合わせさせた。

表1に示したシラバスのように、語彙学習を1週分先行させて、文法学習で用いるコーパス検索の対象語は、前週の語彙学習の学習語彙の一部を使用した。それによって、コーパスを用いたDDLによる句構造に関する語彙・文法学習を効果的に連携させることが可能となった。

表1 2009年DDLシラバス

週	前期		後期	
	文法 (名詞句)	語彙 (1)	文法 (動詞句)	語彙 (2)
1	—	access, decline など20語	—	company, corporateなど20語
2	品詞の区別	audit, equipment...	VP: 自動詞・他動詞	accept, benefit...
3	派生と屈折	applicant, apply...	VP: ditransitives	engineer, force...
4	可算・不可算名詞	accountant, architect...	VP: gerunds, <i>to</i> -infinitives	attend, prepare, consider, suggest,
5	NP: Art + Adj + N	confirm, convention...	VP: gerunds, <i>to</i> -infinitives	affect, prefer, analyze, predict...
6	NP: Adj + N	arrangement, arrival...	VP: <i>that</i> clause	announcement, application...
7	NP: Art + Adj + N	coverage, credit...	VP: passive	bill, budget...
8	NP: Art + Adj + N	assure, brochure...	VP: adverbs	brand, clothing...
9	NP: followed by PP	current, due...	VP: adjectives	appointment, contain...
10	NP: followed by <i>to</i> -infinitive	appliance, beverage...	VP: adjectives (<i>remain</i> ...)	available, concern...
11	NP: followed by <i>-ed, -ing</i>	—	VP: agreement	—

I-2.3 指導教材

授業時にはコーパス検索作業に加えて、2種類の補助プリント教材を使用した。ひとつは、Guided DDL Tasksを通して目標言語形式に対する気づきと帰納的理解を導くもので（以下、DDLワークシート）、もうひとつは、身に付けた目標言語形式を使用してプロダクションを促し定着を図るFollow-Up Activities（以下、文法復習プリント）である。本稿のI-3において報告する教材は前者のDDLワークシートを構成するGuided DDL Tasksの実例である。

I-2.4 授業の流れ

授業は、表2に示すように、(1)から(7)の流れで実施される。まず、先週の語彙の復習テスト、そして文法復習プリント（宿題）の解答とその明示的説明から始まる。次に、コーパスを

用いたDDL学習、続いて教師の明示的説明が加えられる。(5) (6) のWeb語彙学習の後、一連の指導のフォローアップとして、文法復習プリントが配布される。

表2 授業の流れ

語彙	(1) 語彙復習テスト	10分	全体
文法	(2) 文法復習プリント(宿題)の明示的説明	15分	全体
文法	(3) DDL(検索対象語句を示したワークシート使用)	30分	ペア
文法	(4) DDL項目の明示的説明	5分	全体
語彙	(5) Web語彙学習(翌週のDDL検索語になる)	25分	個別
語彙	(6) Web語彙学習の定着確認テスト	5分	個別
文法	(7) 文法フォローアップ(復習)プリントの配布	宿題	個別

I-3. DDL教材の実例

図2に示したDDL Guided ワークシートのサンプルは学習者がパートナーと相談しながら自主的にDDLを進められるように、複数のDDLタスクを記載したものである。図2には実際のDDL授業1回分(30分)で使用される2/3の量が示されている。

最初に **Search Options** で **max search hits** を **500→10** に設定しよう。検索語の_はスペースを表します。

① **a *_ visa** → SORT (Search Term-No Second Sort) どのようなビザが出てきましたか?全部あげてみよう。
 例 a departure visa (出発ビザ), a proper visa (正式なビザ), a short-term visa (短期ビザ),
 a spouse visa (配偶者ビザ), a student visa (就学ビザ),
 a tourist visa (観光ビザ), a working visa (就労ビザ)

② **the *_ delay** → SORT (Search Term-No Second Sort) どのような delay が出てきましたか?
 例 the expected delay (予想された遅れ), the government's delay (政府の遅れ)
 the launch delay (打ち上げの遅れ), the LDP's delay (自民党の遅れ), the marked delay (著しい遅れ)
 the more delay (さらなる遅れ), the patience-release delay (退院延長),
 the prolonged delay (大幅な遅れ), the protracted delay (大幅な遅れ), the recent delay (最近の遅れ)
 ※以上から a * visa や the * delay の * には、(名詞, 所有格, 副詞, 形容詞, -ed) が来ている。

③ **a *_ly_*_ country** → SORT (Search Term-No Second Sort) どのような国が出てきましたか?
 a strategically important country (作戦上, 重要な国)
 a newly industrialized country (新興の工業国)
 a militarily powerful country (軍事的に強い国)
 a racially diverse country (人種の多様な国)

④ **a very *_*** → SORT (Search Term-No Second Sort) どのような「非常に～な…」用例が出てきましたか?

	(限定詞)	(副詞)	(形容詞的要素)	名詞	(後置修飾語句)
1	(a)	(very)	(blunt)	instrument	
2	(a)	(very)	(delicate)	issue	
3	(a)	(very)	(difficult)	task	to ...
4	(a)	(very)	(new)	map	
5	(a)	(very)	(realistic)	option	for ...
6	(a)	(very)	(severe)	state	

図2 DDL Guided Worksheetのサンプル

以下には、5つのタスクをコーパス検索結果と合わせて例示した。3.1は語形変化に関するもの、3.2は名詞句構造に関するもの、3.3は動詞句構造に関するものである。

I-3.1 DDLタスク例（語形変化）

図3は「語形変化」に関するDDLタスクの例である。初級学習者は、中学・高等学校で既習と思われる派生や屈折などの「語形変化」の習得が不十分であるため、前期の前半は語形変化の指導に重点を置いた。それらのルールを把握することによって、名詞句・動詞句の主要部である名詞・動詞、さらに句の内部に類出する形容詞・副詞の品詞の区別、名詞句・動詞句の内部構造の分析などに対し有益な手がかりを得られると考えたからである。

Sample Task 1

< region*の検索結果を見て答えよう。異なる形を書き出して分類しよう。>

<p>Private investment in the region has remained low. 2. The interna ld's most dynamic economic region. Japan is undertaking important support cooperation in the region. We reaffirm our unqualified sup bieve this goal. APEC is a regional forum promoted through voluntar N. for the solution of a regional conflict like this will prove t hrough efforts to advance regional security. Barley, onions, orchid ity in East Asia and build regional political cooperation in the po thought that promotion of regional agreements would become obstacl vidual enterprises in the regions and localities. In case of need, by its member nations and regions. We call upon all countries invy</p>	<p>の公約を歓迎する。この地域に対する民間投資は低いままた の最もダイナミックな経済地域である東南アジアで、隣国諸国 ようだ。我々は、この地域における協力に参加し、かつ、 APECは、加盟国・地域の自主的な努力によって推進 ている今日、このような地域的な紛争に対して、集団的努 として歓迎する。また、地域的安全保障を進める努力を通し 冷戦後の状況において、地域的な政治協力を構築するため べての国の義務である。地域協定による個別自由化の推進（ 要性も認めた。ロシアが地域レベルや地方レベルの具体的 APECは、加盟国・地域の自主的な努力によって推進</p>
--	---

図3 DDLタスク例（語形変化）

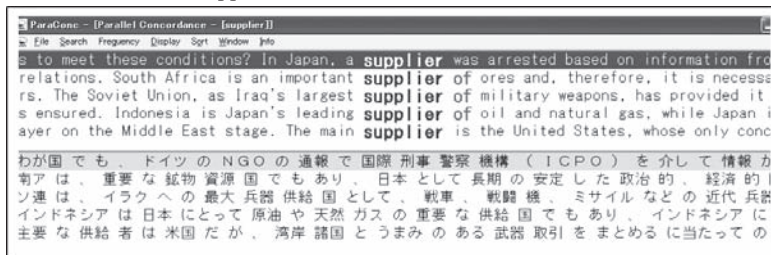
I-3.2 DDLタスク例（名詞句）

図4は名詞句（限定詞 + 形容詞 + 名詞）のDDLタスクの例である。学習者はこのような *supplier* の検索結果を見て、*supplier* を含む名詞句の空欄をうめる。図5は名詞句（限定詞 + 形容詞的要素 + 名詞 + 後置修飾語句）の例で、現在分詞は2語以上になると後ろから名詞を修飾するという例を書き出すタスクである。

以上の例のように学習者がコーパス検索によって多数の同一の構造を持つ用例に接した後、次に、教師は、図6のような図式を示しながら、名詞句構造に関する明示的な解説を与える。これにより、たとえば、学習者は、*supplier* の左に共通して形容詞が現われ、さらにその左には共通して冠詞等の限定詞が現われるパターンについて、「限定詞 + 形容詞 + 名詞」という名詞句構造を意識的に当てはめられるようになる。また、現在分詞は1語の場合は名詞を前から修飾するが、ほかの語句をともなって2語以上になると後ろから名詞を修飾するパターンについて、図式という視覚補助を用い、文法的な用語を使ってメタ言語的な明示的のフィードバックを与えることによって、学習者の既存の文法情報のネットワークが活性化され、学習している言語項目をより理解しやすくなる。

Sample Task 2

<supplier を含む名詞句を書き出そう。>



	前置修飾語		名詞		後置修飾語
1	(a)	()	supplier	() ()	
2	(an)	(important)	supplier	(of) (ores)	
3	(Iraq's)	(largest)	supplier	(of) (military weapons)	
4	(Japan's)	(leading)	supplier	(of) (oil and natural gas)	
5	(The)	(main)	supplier	() ()	

図4 DDLタスク例 (名詞句1)

Sample Task 3

<wearing を含む名詞句を書き出そう。>

by seven or eight persons wearing white costumes, he said. I think the camera recorded a man wearing a red life jacket and hat standing in the water. Witnesses saw a man wearing a flu mask get on a Hibiya-line train at midnight Tuesday, a foreigner wearing a headphone stereo passed through the station.

	(説明部分)	名詞	(説明部分)
1	seven or eight	persons	wearing white costumes
2	a	man	wearing a red life jacket and hat
3	a	man	wearing a flu mask
4	a	foreigner	wearing a headphone stereo

図5 DDLタスク例 (名詞句2)

名詞句	名詞句の中心
[(限定詞) + (副詞) + (形容詞的要素) + 名詞 + (後置修飾語句)]	
冠詞等 a, an, the, this	形容詞
所有格 John's, your	-ing (現在分詞: ~している)
数量詞 many, each, five	-ed (過去分詞: ~された)
	形容詞句(2語以上のまとまり)
	-ing / -ed(2語以上)
	前置詞句 of, for / 関係節/that 節

図6 名詞句構造の解説図

I-3.3 DDLタスク例 (動詞句)

図7は動詞が求める(必要とする)要素である「補部」に関するDDLタスクである。補部には名詞句の他に、動名詞、*to*不定詞、*that*節などが来る。いずれをとるかは動詞によって決まる。*enjoy*や *enjoy *ing* を調べて *enjoy*の後に来ている補部の実例を見ることによって、名詞句や動名詞が来ている例が多いことが理解される。さらに *hope*の検索結果の実例を見ることによって、*hope*の後ろには *to*不定詞や*that*節が多く現れていることがわかる。学習者はこれを表にまとめることによって、*enjoy*などの動詞は補部に名詞句と動名詞をとり、*hope*などの動詞は補部に名詞句と*to*不定詞、*that*節をとるという規則性を発見することができる。

Sample Task 4

< enjoy およびその後に来ている補部を書き出そう。>

revised? The Japanese people enjoy one of the highest income levels in the world. By
Because educating people to enjoy freedom is also the best way of cultivating their
ar issues, the two countries enjoy a largely favorable relationship. We are confiden
the rest of the world are to enjoy economic growth, there must be a new internationa
ed. We want children to enjoy studying. Rather, it should coolly analyze the result
ne archipelago. They can enjoy playing golf and sight-seeing tours. The government f
ations. We should aim to enjoy cooking and eating in a relaxed manner as part of ou
Female workers in Tokyo enjoy drinking alcohol 3.1 times per week on average, accor
ernet allowing users to enjoy shopping and reading up-to-date foreign news at any t

< hope およびその後に来ている補部を書き出そう。>

e election. We hope China will respond to this U.S. policy in a positive
periences. We hope the proposals will be implemented promptly. He held
products. We hope it will promptly draft effective proposals. In Hait
ngary, and hope that free trade among them will soon be possible. Our
n other. We hope that the success of the World Cup will further deepen
mankind. We hope that countries in the East Asian and West Pacific regi
country can hope to proceed to full-scale economic reforms. Major comm
-balanced. I hope to build future-oriented relations with Japan and Sou
however, we hope to hear scientific discussions. And meanwhile the U.S
cific region hope to see stable growth in China. The diplomatic isolati
deep sea and hope to start joint development through the organization.

< 次の動詞について、名詞句、動名詞、*to*不定詞、*that*節の補部への出現状況を答えよう。>

動詞	名詞句	動名詞	<i>to</i> 不定詞	<i>that</i> 節
<i>enjoy</i>	○	○	×	×
<i>hope</i>	○	×	○	○

図7 DDLタスク (動詞句)

図8は「副詞の位置」を学習するDDLタスクである。*Usually*を検索してその結果を見ると、まず、1) これらの頻度を表す副詞は定位置(主語や助動詞の後、あるいは動詞の前)に現れることを学習者は理解できる。そして次に、2) 副詞は、基本的には一般動詞の前、*be*動詞の後に来るという規則性を発見することが可能となる。

動詞句の指導においても図6に示したような動詞句構造の解説図を用いるが、本稿では割愛する。

Sample Task 5

< usually を含む動詞句の部分を書き出そう。>

<p>back of the cuirass, which usually consists of a front, back ht blink. Games of chicken usually end with one side, or poss ems inside tunnels. It was usually delivered in a somewhat wo nt. Tours on Diet missions usually take about 10 to 14 days. h in the Diet, the premier usually elaborates on personal pol he contract, the guarantor usually pays little attention to w of universal welfare. Bees usually make their honeycombs in c although organic foods are usually expensive." It will be the "That was something people usually do not do," she said. Asse ansparent vinyl sheets are usually used for such packing. Nis workers. The immune system usually overcomes the disease in or s into a shape of what we usually conceive of nowadays as of</p>	<p>ることがない。短甲は普通、前胸と後胸（背中） ない。チキン・ゲームは普通、一方、あるいは双方と など環境対策——などが普通うんざりした、しばしば 合、十日から二週間が普通だ。だが、国民の合意 と繰り返し、知恵を絞るのが普通だ。問題は、改革の具 まで注意が回らないのが普通だろう。自衛のための した空間に作られるのが普通で、開放的な場所にこ (25)は「有機食品」の店だと高いが、六百 、我慢させていた。「普通の人ではできないこと 同の、一%増だった。普通は、若物が判別しやうい</p>
--	---

図8 DDLタスク（副詞の位置）

I-4. DDLの教育効果

以上の例に示したDDLタスクを使用した指導効果の検証は、前期においては、4月の前期授業初回と7月の最終回に、(1) 名詞句認識テスト、(2) TOEIC形式名詞句テスト、(3) 名詞句英作文テスト、の3種類のプリテスト、ポストテストを実施した。(1)は文中の名詞句境界を認識できるかどうかを名詞句に下線を引かせて問うテストであり、(2)は文中の名詞句境界を把握すると同時に内部構造を理解し、TOEIC文法問題と同形式で空欄の位置に生じるべき品詞の語を選ぶことが求められる。(3)は名詞句を産出させるタイプの間である。後期には、9月の後期授業初回と1月の最終回に上記3種類のテスト形式に対応した動詞句のプリテスト、ポストテストを実施した。その結果、名詞句、動詞句とも、ほぼすべての項目において指導の前後の得点上昇は統計的に有意であった。

また、年間のTOEIC Bridgeテストスコアの伸びも調べた。プリテストを4月に、ポストテストを1月に実施したところ、2クラスとも全体として得点上昇量に（1%レベルで）有意な差が見られた。

さらに、コーパス利用学習について学習者に評価してもらった。その結果、DDLは「新鮮である」「集中できる」など、学習者がDDLに対して有益な授業イメージを持っていることがわかった。また、コーパスを使った検索練習は「文法学習に役立つ」「語彙学習に役立つ」という項目に対する評価は高く、効果が認められていることが明らかになった。このような評価は毎年、多少の変動はあるものの安定して得られている。

I-5. 今後の課題

本稿では、英語教育におけるDDL利用の例を報告した。コーパスを英語学習に利用する試みは新しいもので、DDL学習の指導実践の報告はまだあまり見られないという現状のなか、筆者

らが2004年に開始したDDL実践は年を追って充実したものとなっている。その結果、大学の一般英語クラスで初級レベル学習者を対象として、文構造理解の基礎となる品詞の区別、名詞句構造および動詞句構造に関する理解を深め、教育効果をあげることが可能となっている。

しかしながら、さらに高い指導効果を目指すための新たな問題点も明らかになっている。今後は、理解した文法項目を実際に使うproduction（産出）活動を、speaking、writing活動に発展させる必要がある。これらは現在までの指導では授業時間の制約があって実現できなかったものである。現在は限られた授業時間を有効に使い産出活動の時間を確保するために、家庭でパラレルコーパスを利用したDDLを実施できる検索サイトを開発中である（Laurence et al, in press）。今後、対話および作文という産出活動が加えられれば、さらに教育効果が高められるだろうことが期待される。

II 日本語編

日本語編では、「緩和」を中心に語彙力をつけるための教材開発を紹介したい。二字漢語の選定に関しては、「日本語新聞キーワードの選定」（中條他、2010）に拠った。この論文の中で新聞に特徴的に使用されていると選定した二字漢語664語のうち、「緩和」は第74位を占めている。「規制緩和」の問題はこのコーパス作成時と同様に、現在も政治的に重要課題として取り上げられることが多いので教材の課題として扱うのにふさわしいと考えた。

対象とする学習者レベルは、中級中期以上という設定にした。現在の日本語教育では、まだ新聞を教材とするには速いと考えられるレベルである。本研究の目的は、外国語学習の大きな動機づけとなる「新聞を読む」ことを一日でも早く学習シラバスの中にとり入れることにあるので、この中級中期の学習者に無理なく新聞教材を提供できるようにしたい。なお、日本語教育では、教育環境がさまざまであることにより、紙媒体による自習教材を前提とした。ただし、英語教育でも力点のおかれたDDLの形式は、この日本語教材でも一貫性をもって実行されている。

II-1. 基礎分析

II-1.1 30例の抽出

以下表1は、教材作成の元になる「緩和」に関する、特にコロケーション（共起しやすい語や表現）に焦点を絞ったものである。これらは、パラレルコーパスのソート操作（1R2R1L：検索語を中心として右側第1語・および第2語、次に左側第1語を五十音順に揃える指示）によって取り出された。

田辺他（日本語学会予稿集、2010）でも「実施」「関連」を対象として行ったが、まずどんな規模のコーパスでもコンコーダンスを考える時、30例を抽出し（これはコンピュータが任意に取り出したもの）その語の用法の概略をつかむことは*Reading Concordances*（Sinclair, 2003）でもほぼ全部の対象語において行っている。

表1 「緩和」30例1R2R1L

ParaConc - [Parallel Concordance - [緩和]]	
File	Search Frequency Display Sort Window Info
1	対策 自家発電の有効利用の拡大 大口ガス供給の規制緩和、合理的な電気・ガス料金制度の設定などである。バリスチナ
2	と・通信分野など新規産業の創出を刺激するような規制の緩和)に貢献し、日ソ関係の改善につながることを期待する」と
3	化、ベレストロイカの進展が世界の安定やデタント(緊張緩和)されたと言える。政党支部とはいえ、政治家個人に企業・
4	と禁止された。実質的に政治家個人への企業・団体献金が緩和された。(3)何人も、自己に不利益な唯一の証拠...
5	。フィンランドもバルト三国の独立で、国境圧力の一部は緩和され、同地域の政治協力を促進すると共に、アジア・太平洋の
6	多様性を尊重しつつ、同地域の繁栄を促進し、緊張を緩和し、冷戦後の状況において、地域的な政治協力を構築するた
7	らになった。日米両国政府は、東アジアの緊張及び不安定を緩和することも不可欠だ。中央委員や中央委員候補に、銀行や
8	ることが望ましい。武器使用の基準を国際標準並みに緩和することを求めた。テロ資金供与防止条約の関係でも、政
9	らになすべきか? カラーテレビや医療機器の基準・認証も緩和するのは、自衛隊が円滑かつ安全に任務を遂行するために不
10	らにより支援される。国際標準に合わせて武器使用基準を緩和するのは、自衛隊が円滑かつ安全に任務を遂行するために不
11	らの中には、黒人大統領の選出がこの国の人種的緊張を緩和する上で大きな動きをするだろう、と考えているものもいる
12	重債務 貧困国の債務救済策など「弱者」支援だ。規制緩和と技術革新が「通信主権」という考え方を過去のものにして
13	活性化させるには、評価制度の確立は不可欠だ。規制緩和と技術開発で、経済成長と環境保護とエネルギーの安全保障
14	には、意を強くさせられる。この進展は、一層の緊張緩和に向けての希望を抱く根拠となる。安保以外の分野でも数多
15	成長にとって望ましい。▼農業における生産・流通の規制緩和による市場メカニズムの活用。メキシコの改革が、双方に利
16	けさせる義務を負う。▼土地・住宅及び関連分野の規制緩和による土地の有効・適正利用と住宅建設の促進。ブラジル、
17	はこのような赤字増大に強い懸念を示し内需拡大の推進を求めた。兵庫、福井、静岡県でも建設または計画
18	の構想と現実化を可能にしたのである。半島の緊張緩和の動きは、地域の平和と安定のために歓迎すべきことだ。
19	はあるがハンドルが付いていない自動車のような。規制緩和の目的は、自己責任原則と市場原理を基にした抜本的な
20	したいと願っている多くの白人の票も獲得するだろう。緩和は計画的に実施し、ビジネス・チャンスの拡大、消費者選択の
21	占禁止法の執行体制の強化、地方自治体レベルの規制緩和や業界慣行の見直し、当事者の自己責任原則に立ったルール
22	で各々の国別計画をより効果的に調整すること。規制緩和や市場開放の着実な努力も怠ってはならない。憲法六二条
23	題だけに当然だろう。経済・社会の活性化に役立つ規制緩和をさらに進めることへの強い期待を示している。最近、日本
24	う手法は資金の供給に加え、結果として円安とデフレ圧力緩和を進める効果も持つ。韓国、メキシコとは既に日本貿易振興
25	きはその重要な過程である。予想される抵抗を乗り越えて推進することこそ、政治家の役目ではないか。さらに、
26	なのでしょうか。米政府が、北朝鮮に対する経済制裁の緩和を発表した。新機構の設立に手を取っている間にも、武器
27	推進本部(本部長・村山首相)の下に設置した規制緩和検討委員会(十四人の民間専門委員で構成)について「市場
28	で中東を使ったのはプッシュ大統領である。政府が規制緩和推進3か年計画を改定した。公正取引委員会の独占禁止法
29	開発の魅力は半減する。政府の行政改革推進本部が規制緩和推進5か年計画の策定作業に本格着手した。大法廷は、そ
30	と専門家はむしろ、地震の被害を小さくするための「被害緩和対策」の重要性を強調している。しかも、こうした介入は、

II-1.2 30例の用法整理

右端の数字は、パラレルコーパス全体における「緩和」全用例1144件中の該当用法の数である。

- (1) 緩和され [例番号: 4, 5] (39例)
- (2) 緩和し、 [例番号: 6, 7] (23例)
- (3) 緩和する(こと) [例番号: 8~11] (61例)
- (4) 名詞合成語句として
 - (4)-1 (規制・緊張・圧力)+緩和 [例番号: 1, 3, 12~19, 21~24] (規制緩和: 442例)
(緊張緩和: 49例)
(圧力緩和: 1例)
 - (4)-2 (規制・被害)+緩和+(検討・推進・対策) [例番号: 27~30] (規制緩和検討: 3例)
(規制緩和推進: 40例)
(被害緩和対策: 1例)
- (5) 共起する複合助詞
 - (緊張・規制)緩和+(に向けて・による) [例番号: 14~16] (緊張緩和に向けて: 2例)
(規制緩和による: 19例)
- (6) 「緩和 の+()」で結びつきやすい名詞
 - (規制・緊張)緩和 の(推進・動き・目的) [例番号: 17~19] (規制緩和の推進: 18例)
(緊張緩和の動き: 2例)
(規制緩和の目的: 1例)
- (7) 「緩和」を目的語として共起する動詞
 - 緩和を+(進める・推進する・発表する) [例番号: 23~26] (緩和を進める: 7例)
(緩和を推進する: 1例)
(緩和を発表する: 2例)

II-1.3 コロケーションの頻度分析

パラレルコーパス内の「緩和」全用例（1144件）を対象として、連語の頻度を分析した。

表2 Frequency Statistics (頻度統計)

	2-Left	1-Left	1-Right	2-Right			
239	の	569	規制	137	の	75	、
170	、	114	の	128	を	56	の
78	。	87	を	77	する	48	、
52	規制	85	金融	70	に	30	な
44	な	51	緩和	68	など	23	は
29	た	42	量的	65	策	23	は
24	「	21	が	46	が	19	推
24	や	20	に	45	、	17	進
20	に	13	な	40	さ	15	こ
18	は	12	も	43	し	15	と
18	基	11	・	42	や	14	計
12	準	10	、	40	推	13	画
12	と	8	は	39	進	13	で
12	条	7	制	32	は	12	委
12	件	7	裁	29	で	11	員
11	職	6	大	20	に	11	五
11	が	6	幅	17	よ	10	も
10	制	4	混	17	る	10	が
10	裁	4	雑	13	効	10	効
10	な	4	加	17	果	10	争
10	ど	4	道	17	に	10	合
10	大	4	加	13	」	9	議
10	幅	4	要	11	に	9	事
10	的	3	件	11	つ	9	論
9	で	3	か	10	い	8	を
8	」	3	ら	10	っ	8	に
8	」	3	さ	9	く	8	、
8	張	3	ら	8	、	8	と
7	す	3	に	9	小	8	会
7	も	3	て	8	委	8	経
6	・	3	て	7	員	8	済
6	を	3	て	7	す	8	三
6	一	2	へ	7	へ	8	階
6	層	2	に	6	関	8	を
6	制	2	関	6	る	8	踏
6	限	2	す	6	ま	8	み
6	要	2	問	6	切	8	切
5	件	2	題	5	る	7	る
5	」	2	」	5	」	7	な
5	」	2	」	5	」	7	ど
5	あ	2	」	5	」	7	な
5	る	2	」	5	」	7	ど

表3 Advanced Collocation 1L1R2R (統括連語)

Count	Pct	Word
19	1.6808%	を ... し、
18	1.5734%	規制 ... の 推進
15	1.3112%	規制 ... 策 を
14	1.2238%	規制 ... は、
14	1.2238%	規制 ... 推進 計画
13	1.1364%	規制 ... 推進 五
12	1.0490%	が ... され
10	0.8741%	規制 ... 策 の
9	0.7867%	規制 ... 小 委員
8	0.6993%	を ... すること
8	0.6993%	を ... するため
8	0.6993%	規制 ... などの
8	0.6993%	規制 ... の 流れ
8	0.6993%	規制 ... 委員会
7	0.6119%	規制 ... 推進 三
6	0.5245%	規制 ... などによる
5	0.4371%	の ... や、
5	0.4371%	規制 ... が 必要
5	0.4371%	規制 ... で、
5	0.4371%	規制 ... など を

表2は、ParaConcソフトウェアのfunctionを利用して抽出した頻度別統計である。「緩和」を中心にして左右それぞれ右側第1語（1-Right）・右側第2語（2-Right）、左側第1語（1-Left）・左側第2語（2-Left）が頻度順に並べられている。それぞれの位置における高頻度の語なので意味のある句を導き出すには、類推しながら再構成しなければならない。表1の30例では出てこなかったが、実際は高頻度で出現する「金融緩和」が拾える。また、共起する形容詞として「大幅（な）」が、2-Left、1-Leftに見られる。また、共起する複合助詞も、表1の30例から、「による」「に向けて」に加えて「について」「に関する」「によって」が考察できる。「規制措置」の「措置」が1-Rightに、動詞として「踏み切る」が2-Rightにみられる。

表3は、表2と同じ「緩和」全用例を対象として、ソート操作（1L、1R、2R）を行い、コロケーションの頻度順に並べたものである。「緩和」との共起度および出現頻度が高い語のリストである。これによると「緩和し、」という文中での連用形での連結が多いことがわかる。新聞記事におけるディスコース機能と考えられる用法で、これはコーパスの研究利用によって明確化・数量化されたといつてよいだろう。表2と表3は、表1で人間の判断によって抽出した用法を裏打ちし、さらなる材料の提供をする資料として利用できる。

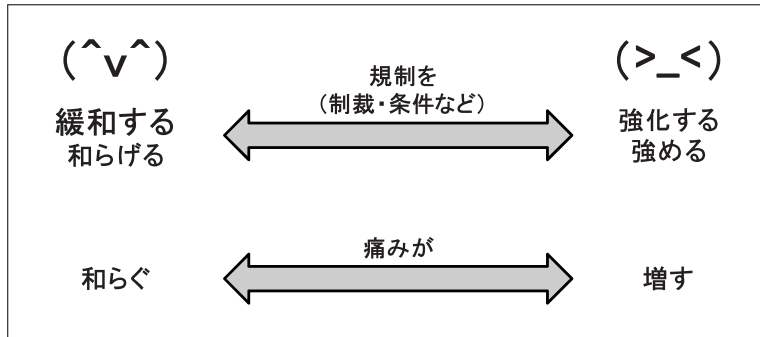
II-2. 教材紹介

以下に示したものは、前項における基礎分析によって作成した教材である¹⁾。全課約30課から成る練習問題形式の1課分という設定である。それぞれの問題の下に【解説】をつけて問題作成の趣旨を述べた。

新聞を読もう。

～日英新聞パラレルコーパスに準拠したコロケーション重視の練習問題～

第1課 かんわ 緩和



【テーマ解説】 この課全体のまとめとなるテーマをイメージとして課の最初に提示した。この図によって和語動詞（和らぐ・和らげる）の自他動詞の区別、「強める」「増す」の対抗する語の関連付けも試みた。コーパス例文を見て頻度の高い語や表現を用いて簡単な会話文例Ⅰやそのままおぼえられる例文でもいいだろう。ただし、従来の教材と同じように演繹的に学習者に表現を押し付けてしまっはDDLの趣旨からはずれてしまう。例Ⅱでは、あえて課の最終目標を最初に提示する案を書いてみた。この質問は、語学学習の枠をこえて「規制緩和」について社会問題としての理解を要求している。作文問題にまで発展させて、最終目標としてこのような課題に取り組めることにまで到達させることが必要だろう。例Ⅲは類義語との差異を確認する。

例Ⅰ 会話例：

新聞記者A：「となりの国の大統領は、我が国からのりんごの輸入の規制緩和を進めるどころか、米の規制を強化したそうだ。」

新聞記者B：「えっ。なんだった。」

例Ⅱ 課題例：

質問：この課の学習が終わったら、次の問題に答えてください。

- 1) 地球規模化の時代にむけて、各国は規制緩和に努力するべきでしょうか。
- 2) 規制緩和の問題点はなにか考えてみましょう。

例Ⅲ 質問例：

次の文の（ ）の中に入る語を下から選びなさい。

- 1) 酔をせっけんで（ ）する。
- 2) 輸入制限を（ ）する。
- 3) 周囲との（ ）がとれた建造物

a 調和 b 緩和 c 中和

問題1 □を参考^{さんこう}に、(1)～(5)の()の中^{なか}から適^{てきとう}当^ごな語^{えら}を選びなさい。

政治家個人への企業・団体献金^{けんきん}が緩和^{かんわ}されたと言える。政党支部^{せいとうしぶ}とはいえ、政治
 都心部^{としんぶ}でマンションの容積率^{ようせきりつ}が緩和^{かんわ}されたのは、そのテコになるだろう。市
 以来^{いらい}、引き締^{ひきしめ}め策^{さく}は二度^{にど}にわたり緩和^{かんわ}された。それ以来^{いらい}、経済成長率^{けいぎせいちょうりつ}は事実^{じじつ}、
 分かりだ。実際^{じじつ}、部分的に制裁^{さいがい}は緩和^{かんわ}されてきた。こうしてラビンは、シリアと
 三国^{さんこく}の独立^{どくりつ}で、国境圧力^{こくけいあつりき}の一部^{いぶ}は緩和^{かんわ}された。(3)何人も、自己に不利益^{ふりえき}な
 なければ、今ごろは経済制裁^{けいぎさいがい}も緩和^{かんわ}され、国際社会^{こくさいしやかい}への復帰^{こくぱい}も進んでいたは
 同地域^{どうちいき}の繁栄^{はんえい}を促進^{そくしん}し、緊張^{きんじやう}を緩和^{かんわ}し、同地域^{どうちいき}の政治協力^{せいじきやうりき}を促進^{そくしん}すると共に、
 は、東アジア^{とうあじあ}の緊張^{きんじやう}及び不安定^{ふあんてい}を緩和^{かんわ}し、冷戦後^{れいせんご}の状況^{じゆうきやう}において、地域^{ちいき}的な政治
 る。このため、参入規制^{さんにゅうきせい}を撤廃^{てつぱい}・緩和^{かんわ}して価格^{かかく}・サービス競争^{サービスきやうそう}を促進^{そくしん}させるとも
 を六^む、七年^{しちねん}の移行期間^{いこうきかん}を設^{もう}けて緩和^{かんわ}してゆく方針^{ほうしん}で、日本側^{にほんがわ}と交渉^{こうしやう}を進めてい
 ます。宅地^{たくち}や住宅^{たくざい}をめぐる規制^{きせい}を緩和^{かんわ}して、土地^{ちど}の有効利用^{ゆうきうりよう}を図^{ひつよう}りたい。だが、
 十六分^{じゅうろくぶん}かかった。武器使用基準^{ぶきしやうきじゆん}も緩和^{かんわ}すべきだ。安全網^{あんけんもう}を維持^{ひつよう}するための構造改^{こうぞうかい}
 武器使用^{ぶきしやう}の基準^{きじゆん}を国際標準^{こくさいひょうじゆん}並^{なみ}み緩和^{かんわ}することも不可^{ひつよう}欠^{けつ}だ。中央委員^{ちゆうおういん}や中央委員^{ちゆうおういん}
 テレビや医療機器^{いりやくきき}の基準^{きじゆん}・認証^{にんじ}を求めた。テロ資金^{てろしきん}供与^{きゅうよ}防止^{ぼんじ}条約^{じょうやく}
 ノ名^なは一つ^{ひとつ}」としている規制^{きせい}を緩和^{かんわ}することを決^{けつ}めた。戦後^{せんご}、米軍^{べいぐん}から管制^{かんせい}
 れるのであり、武器使用基準^{ぶきしやうきじゆん}を緩和^{かんわ}することが必要^{ひつよう}になる。マネーサプライ(通
 貨標準^{かふじょう}に合^あわせて武器使用基準^{ぶきしやうきじゆん}を緩和^{かんわ}するのは、自衛隊^{じえいたい}が円滑^{えんわく}かつ安全^{あんぜん}に任務^{にんむ}を
 然^{ぜん}の権利^{けんり}だ。この軍事的緊張^{ぐんじてききんじやう}を緩和^{かんわ}する具体的措置^{ぐたいてきそち}が必要^{ひつよう}である。九八年三月^{きゅうはちねんさんがつ}
 の選出^{せんしゅ}がこの国^{こく}の人種^{じんしゆ}的緊張^{てききんじやう}を緩和^{かんわ}する上で大きな働^{はたら}きをするだろう、と考^{かんが}え

- (1) 団体献金^{だんたいけんきん}が(緩和された・緩和する)と言える。
- (2) 日本車輸入規制^{にほんしやゆちゆうきせい}を六^{ろく}、七年^{しち}の移行期間^{いこうきかん}を設^{もう}けて(緩和され・緩和し)てゆく方針^{ほうしん}で、
日本側^{にほんがわ}と交渉^{こうしやう}を進^{すす}めている。
- (3) 武器使用基準^{ぶきしやうきじゆん}を(緩和された・緩和する)ことが必要^{ひつよう}になる。
- (4) この軍事的緊張^{ぐんじてききんじやう}を(緩和された・緩和する)具体的措置^{ぐたいてきそち}が必要^{ひつよう}である。

【問題1解説】

問題1は、前述II-1.基礎分析のところ^{ところ}で30例^{れい}を指導項目別^{しゆどくぐむくべつ}に分類^{ぶんれい}した動詞^{どうし}のアスペクト・
 ヴォイスに関する(1)～(3)を対象とした問題^{もんだい}である。日本語動詞^{にほんごどうし}の「する」の活用^{かよう}がソート
 によって1R・2Rの位置^{ちゐ}が縦^{たて}に「さ(れ)」「し」「して、」「する」と並び^{なら}びわかりやすく整理^{せいり}され
 ている。このコンコーダンスは、検索語^{けんさくご}「緩和」で100例^{れい}を出^だした一部^{いぶ}である。

学習者^{がくしゆ者}は、「する」と受身形^{うけしんけい}「される」の判別^{はんべつ}を文中^{ぶんちゆう}の助詞^{すけごし}(～を)(例^{れい}:(2)規制^{きせい}を)か、
 (～が)(例^{れい}:(1)献金^{けんきん}が)によって判断^{はんぱん}しなければならない。上記^{じょうき}の枠^{わく}の中のコンコーダンスの
 文^{ぶん}そのものを問題文^{もんだいぶん}にしている^{している}ので答え^{こたえ}られないはず^{はず}はないのだが、枠^{わく}全体^{ぜんたい}の文^{ぶん}に目^めを通^{とお}す必要^{ひつよう}
 があり、実際^{じじつ}にはかなりの労力^{らうりき}を要求^{ようきう}する問題^{もんだい}である。問題I^{もんだい}では、取り上げ^とられていないが、
 「_____」+緩和する」のように「緩和する」の目的語^{てきめくご}となりやすい語^{ことば}(制裁^{さいがい}・基準^{きじゆん}・規制^{きせい}・
 緊張^{きんじやう})を尋^{たず}ねる質問^{しつもん}もコロケーション^{コロケーション}を意識^{いしぎ}させる意味^{いみ}で重要^{じゆうじやう}である(問題3参照^{さんしやう})。その他の
 指導項目^{しゆどくぐむ}としては「(緩和)することを」+「決めた」「求めた」および「(緩和)することが」+「不
 可欠だ」「必要となる」の発展^{はつせん}的表現^{てきへん}練習^{れんしゆ}も有効^{ゆうこう}であろう。

問題2 □ を参考^{さんこう}に次^{つぎ}の問^といに答^{こた}えなさい。

この進展は、一層の緊張緩和に向けての希望を抱く根拠となる。安保以外の分野
 財政支出の拡大と金融緩和に踏み切る。円高・ドル安は、これまでのところ、
 いる。しかし、これは規制緩和に名を借りた規制強化だ。独占の弊害には公正取引
 上がった。武器使用の要件緩和についても同様だ。二条件が満たされるかどうかは
 例がある。わが国が規制緩和について包括的な推進計画を打ち出すのは初めて。し
 されない。全体として規制緩和によってエネルギー利用の効率化、供給の安定化を助
 べきだ。政治改革、規制緩和による経済の活性化、コメの市場開放、さらには
 における生産・流通の規制緩和による市場メカニズムの活用。メキシコの改革が、
 住宅及び関連分野の規制緩和による土地の有効・適正利用と住宅建設の促進。
 認めた。このため、規制緩和による東京国際金融市場の育成や、各国の外貨準備
 の非効率産業分野の規制緩和による内外価格差の縮小。策定作業の中心になって
 いただいたろう。そして規制緩和による民間投資刺激と建設国債による公共投資の拡大
 だ。▼輸入関連の規制緩和による輸入拡大。その結果、解決策模索の焦点は「
 問報告」で提言した規制緩和のメリットが最大限に引き出される、との前提条件作
 質所得の増加など、規制緩和のメリッが最大限に引き出される、との前提条件作
 月の南北首脳会談で緊張緩和の局面に入った。日本政府は九九年、米軍の後方
 で友好関係にある。規制緩和の経済効果は、経済企画庁の試算によると、昨年度
 革委員会は、新たな規制緩和の検討対象として、七月の三十八項目に続いて八項
 概念を示し内需拡大と規制緩和の推進を求めた。兵庫、福井、静岡県でも建設ま
 ののである。半島の緊張緩和の動きは、地域の平和と安定のために歓迎すべき
 い自動車のような。規制緩和の目的は、自己責任原則と市場原理を基にした抜
 は時代の主流である。緊張緩和の流れに沿った動きであり、アジアの安定に寄与す

1. 下線部に入る語を入れなさい。

- (1) _____ 緩和 (5) 規制緩和 _____ 包括的な推進計画を打ち出す
 (2) _____ 緩和 (6) 規制緩和 _____ 経済の活性化
 (3) _____ 緩和 (7) 規制緩和 _____ 勧告権を有する
 (4) _____ の緩和

2. 下線部に、下の a~eの中から、適当なものを選び入れなさい。

- (1) 規制緩和の _____ 効果は、計り知れないものがある。
 (2) 規制緩和の _____ 対象として、新たに三十項目を設けた。
 (3) 内需拡大と規制緩和の _____ を求めた。
 (4) 緊張緩和の _____ は、地域の平和と安定のために歓迎すべきである。
 (5) 両国の和解は時代的主流である緊張緩和の _____ に沿った動きであり、アジア
 の安定に寄与するものとして、歓迎したい。

a 推進	b 経済	c 流れ	d 検討	e 動き
------	------	------	------	------

【問題2解説】

問題2は、「緩和」の名詞合成力、緩和+の+（ ）による結びつき、共起しやすい複合助詞「について」「による」の3項目を主に取り扱っている。前述基礎分析の30例においては、項目(4)～(6)に関係するところである。問題2の2は、質問の対象を「緩和」から拡大して周辺の表現を取りあげている。漢語ばかりではなく(5)「流れに沿った」という和語的表現も学習者に意識させることができるように作成した。

問題3 □ さんこう した かせんぶ できとう どうし い を参考に下の下線部に適切な動詞を入れなさい。

経済・社会の活性化に役立つ規制緩和をさらに進めることへの強い期待を示して、
 「宣言」で示された認識の緩和を可能とするような大きな変化は生じてい
 台関係の安定化と台湾海峡の緊張緩和を願うわれわれとしては、そのあたりを中国
 ぐす道は、日本が市場開放と規制緩和を急ぎ、「強い円」を生かす内需拡大に努
 業務運営の効率化と事業規制の緩和を求めている。一、米軍事力の存在が、
 任命する。金利引き下げを含む金融緩和を協調して進めることで合意し、世界経済
 液製剤でHIVに感染した。規制緩和を重点目標の一つとしている細川内閣の政
 加え、結果として円安とデフレ圧力緩和を進める効果も持つ。韓国、メキシコとは
 ある。予想される抵抗を乗り越えて推進することこそ、政治家の役目では
 には、供給区域や料金制度の規制緩和を提言している。北米大陸と活力ある東ア
 政府が、北朝鮮に対する経済制裁の緩和を発表した。新機構の設立に手間取ってし

- (1) 緩和を _____ (3) 緩和を _____
 (2) 緩和を _____ (4) 緩和を _____

【問題3解説】

【問題1解説】において「____を+緩和する」の練習が必要であると述べたが、問題3では、「緩和」が目的語になった時に共起しやすい動詞群を問うている。「求める」「進める」「推進する」「急ぐ」「願う」「発表する」などがコンコーダンス枠内から拾えるが、指導においては特に和語動詞の導入に力を入れることが必要だと思われる。作者が、本教材開発を始めたきっかけとなったのは、この問題3のように通常「二語漢語+する」として使用されていた二語漢語がひとたび、「する」を落として目的語となって「を」格を伴った時、それに適した和語動詞を思い浮かべることが非常に不得手であるという印象を日本語の指導の中で得たからである。学習者の母語に関係なくこのような傾向はあると推察する。文法教育だけでなく語彙教育のシラバス（どの段階で何を教えるのかという計画表）も整備する必要があるだろう。

問題4 つぎ ぶん か せん ぶ した なか てきとう えら い
次の文の下線部に下の a～e の中から、適当なものを選び入れなさい。

- (1) 人種間の _____ を緩和する即効薬はない。
- (2) 通勤利用者の高速料金を割り引くことで一般道路の交通量を高速道路に振り替えて朝夕の一般道路の _____ を緩和する。
- (3) 日本がコメ輸入 _____ を緩和できれば、それが突破口になる。
- (4) 現在、大学三年からの大学院進学が可能な単位面などの _____ を緩和することを検討中である。
- (5) バブル崩壊以来、政府は不況の _____ を緩和するために鎮痛剤をがまん打ってきた。

a 制限

b 痛み

c 対立

d 渋滞

e 条件

【問題4解説】【解説】

問題4からは、応用編となりコンコーダンスの提示はなく、自ら調べながら解答することを前提としている。

【問題1解説】において「_____ を＋緩和する」の練習が必要であると述べたが、この問題は、その文型にあたる。参考とすべきコンコーダンスはないが、文中の他の語から正解を推測できる難易度である。

問題5 つぎ ぶんしょう よ 読んで(1)と(2)に入る言葉 した の a~d の中から一つ 選びなさい。

おきなわ せんかくしやとうおき ちゅうごくぎせんしやうとつじけんご おこな しょう かでん ぶひん
 沖縄・尖閣諸島沖の中国漁船衝突事件後に行われていた、省エネ家電などの部品
 ふかけつ きどるい ちゅうごく にっぽん ゆしゆつきせい いちぶ
 に不可欠なレアアース（希土類）の中国から日本への輸出規制が一部〔(1)〕されたこ
 とが29日、明らかになった。ただ、レアアース以外でも滞っている日本向け貨物の
 つうかんでつづ ほうにちりよう じしゆく せいじようか にちゅうかんけい しゅうふく
 通関手続きや訪日旅行のPR自粛などが正常化し、日中関係の修復につながるかは
 ふとうめい
 不透明だ。

にっぽん しょうしや ちゅうごくせいふ ゆしゆつしやうにんしよ
 日本の商社などによると、中国政府が〔(2)〕していたレアアースの輸出承認書の
 はつきゆうてつづ さいかい つうかんでつづ いちぶ せいじようか じょうほう
 発給手続きが28日、再開された。通関手続きでも、一部が正常化しているとの情報も
 ある。

(2010年9月29日11時22分 読売新聞)

- (1) a 開始 b 緩和 c 選択 d 調査
 (2) a 終了 b 反発 c 推進 d 停止

【問題5解説】

パラレルコーパスの元の読売新聞の記事が、1989年から2001年のものであり、話題としては古いのでそこを補う目的で、応用編には、最近のトピックをできる限り取り上げることにした。ここでは(1)では「緩和」(2)では、「停止」が正答となる。(1)では前述の「輸出規制」(2)文末の「再開された」がキーワードとなって正解が導き出せるはずである。この課の最初に提示した課の内容をイメージ図として示したものの文章化例として、非常に的確な記事が見つけたと思う。

問題6 下の質問に答えなさい。

緩和ケア

石川県立中央病院緩和ケア内科 黒川勝医師
患者、家族の生活の質改善

「[*]ケア*1とは、人生を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期から痛み、身体的、社会的、スピリチュアルな問題に関してきちんとした評価をおこない、それが障害とならないように予防したり対処したりすることで、クオリティー・オブ・ライフ（生活の質）を改善するためのアプローチである」

WHO（世界保健機関）は、2002年に[*]ケアをこのように定義しています。

[*]ケアとは、生命を脅かす疾患に伴う痛みをはじめとする身体のつらさ、気持ちのつらさ、生きている意味や価値についての疑問、療養場所や医療費のことなど、患者や家族が直面するさまざまな問題に対し援助する医療のことです。

また[*]ケアは、病気の時期や治療の場所を問わず、いつでもどこでも提供される必要があります。従来、[*]ケアは「看取りの医療」*2と、とられがちでしたが、これによりがんが進行した患者だけでなく、より早期から行われることが重要であると考えられるようになりました。

世界の[*]ケアの歴史は元々、中世ヨーロッパで旅の巡礼者を宿泊させた援助施設が始まりで、これをホスピスといました。やがて、病となり旅立つことができなくなった死にゆく病人の慰めと安らぎの場としても、使用されるようになりました。

その後、1967年英国のシシリー・ソングラス医師は、セントクリストファー・ホスピスを建設し、[*]ケアを基本とした現代ホスピスの基礎を作り、世界の先駆けとなりました。

日本は73年、大阪府の淀川キリスト教病院にホスピス病床が設けられました。87年には千葉県国立療養所松戸病院（現在の国立がんセンター東病院）に公的な機関として初めて開設され、全国各地の国公立病院に広がりました。

（2010年2月17日 読売新聞）

*1 ケアとは、英語の care の日本語訳

*2 「看取りの医療」とは、最期をみとるための看護医療のこと

- 文中の[*]には、同一の語が入ります。漢字で書きなさい。
1. の[*]ケアはどのように変わってきましたか。下の言葉を使って100字以内で説明しなさい。

「看取りの医療」 ホスピス クオリティー・オブ・ライフ

【問題6解説】

左記に掲げる問題6は、「緩和ケア」に関する読物である。インターネット上で手に入れた。「規制緩和」としての用例ばかりだとおのずと意味解釈に制限が出ると思えるので、「緩和ケア」問題を扱うことによってこれを補正した。内容としては「緩和ケア」の変遷史といえるものである。質問2では、それをまとめる作文の課題を示した。場合によっては、下記のように談話の枠組みを提示すれば、難易度も下がり、的確に作成者の意図は伝えることができるだろう。

緩和ケアは、元々_____と呼ばれる病院で行われた。従来は、死に行く人の慰めと安らぎのための_____として考えられてきたが、近年_____から行われることが重要という認識のもとに_____を改善するためのアプローチとして定められるようになった。

まとめ

以上 I では、英語教育から、II では日本語教育の立場からパラレルコーパスに準拠した教材開発を紹介した。英語教育では、文法指導を目的として、日本語教育では、語彙教育の一環として扱っているがコーパスの利用は、多種多様であってよいだろう。英語教育では、日英の両方の文章を利用してパラレルコーパスならではの利点をすでに反映させた教材が作成されているが、これは日本人が英語を学習するという状況においては、日本語の助けを借りることが教育的にも効果が上げられるからである。一方、日本語教育ではこの両方の提示によって意義があるのは、英語母語話者が日本語翻訳を勉強する時であろう。報道記事の翻訳としての練習を積むのには日英両画面を同時に見ながら相互に対応する文を読み比べることは効果的学習方法と考えられる。今回の日本語教育の目的設定は、新聞を読みたいがそこまで日本語力が十分身につけていない学習者を現在開発中の教材によって支援し、新聞を読めるようにするという目的であり、また母国語が英語ではない学習者も対象としているため、本研究では英語部分の利用は試みなかった。

近年、コーパス言語学の発展はめざましいものがあり、日本語・英語研究双方でも手掛けられるようになってきている。学習者コーパスの作成も進められているが、具体的な教材開発までは至っていない。このような状況を鑑みても、早くコーパス基盤の教材によるより客観的用例と効果的練習方法を直接学習者に提供したいと考えている。

注

- 1) Thurstun, J. and Candlin, C. N. (1997) *Exploring academic English: A workbook for student essay writing*, Macquarie University を参考にした。

本研究は平成21-24年度科学研究費補助金 基盤研究 (B) (21320107) を受けて行われました。

参考文献

- Barlow, M. (2004) ParaConc [Computer software]. Houston: Athelstan. Available at <http://www.athel.com/para.html> (accessed 30 September 2009)
- Bernardini, S. (2004) 'Corpora in the classroom: an overview and some reflections on future developments,' in: J. Sinclair (ed.) *How to use corpora in language teaching*. Amsterdam: John Benjamins, 15-36.
- Chan, T. and Liou, H. (2005) 'Effects of web-based concordancing instruction on EFL students' learning of verb-noun collocations,' *Computer Assisted Language Learning*, 18 (3), 231-250.
- 中條清美 (2003) 「英語初級者向け『TOEIC語彙1, 2』の選定とその効果」、『日本大学生産工学部研究報告B (文系)』、36, 1-16.
- 中條清美 (2008) 「コーパスに基づいたシラバスデザインとその実践」、中村純作、堀田秀吾 (編)、『コーパスと英語教育の接点』、東京、松柏社、67-90.
- 中條清美、木下謙朗、田辺和子、内山将夫、西垣知佳子 (2010) 「日本語新聞キーワードの選定」、『日本大学生産工学部研究報告B』、43, 53-67.
- 中條清美、田辺和子、木下謙朗、三橋麻子、西垣知佳子 (2009) 「コーパスを活用した日本語教材作成の試み」、『日本大学生産工学部研究報告B』42, 43-52.
- Flowerdew, L. (2008) 'The pedagogic value of corpora: a critical evaluation,' *Proceedings of the 8th Teaching and Language Corpora Conference (TaLC)*, Lisbon, Portugal, 115-119.
- Laurence, A., Chujo, K. and Oghigian, K. (2011) 'A novel, web-based, parallel concordancer for use in the ESL/EFL classroom,' Amsterdam: Rodopi Press (in press).
- Sinclair, J. (1991) *Corpus, concordance, collocation*, Oxford: Oxford University Press.
- Sinclair, J. (2003) *Reading concordances: An introduction*, Pearson Education Limited.
- Stubbs, M. (2002) *Words and phrases: Corpus studies of lexical semantics*, Oxford: Blackwell Publishing Ltd.
- Sun, Y. and Wang, L. (2003) 'Concordancers in the EFL classroom: cognitive approaches and collocation difficulty,' *Computer Assisted Language Learning*, 16 (1), 83-94.
- 田辺和子、伊藤誓子、小長井晃子 (2008) 「留学生科目における語彙指導の工夫」、『日本女子大学文学部紀要』、57, 29-46.
- 田辺和子、中條清美 (2009) 「パラレルコーパスの教育的利用によるコロケーションの一考察」、『日本女子大学文学部紀要』、58, 32-40.
- 田辺和子、中條清美、伊藤誓子、桑原和子 (2010) 「パラレルコーパスに見る漢字二字熟語の連語 (コロケーション) の分析」、『日本語学会 2010年度秋季大会予稿集』、231-236.
- Todd, R. W. (2001) 'Induction from self-selected concordances and self-correction,' *System*, 29, 91-102.
- Uchibori A., Chujo, K. and Hasegawa, S. (2006) 'Toward better grammar instruction: Bridging the gap between high school textbooks and TOEIC,' *The Asian EFL Journal*, 8 (2), 228-253.
- 内山将夫、井佐原均 (2003) 「日英新聞の記事および文を対応付けるための高信頼性尺度」、『自然言語処理』、10 (4)、201-220.